

平成25年度第5回鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

- 1 日時 平成25年7月12日(金)
開始 13:30
終了 16:30
- 2 場所 鹿島区役所 大会議室

1 開会

■事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数15名

【出席委員名】13名

澤田一夫、五賀和雄、折笠寛昭、鈴木直門、和泉ひで子、西道典、西文子
荒邦夫、郡俊彦、鈴木貞正、早川孝雄、前田典郎、立谷ちず子

【欠席委員名】2名

松野豊喜、大塚悦子

委員の過半数が出席していることにより、本会議が成立していることを確認。

2. 会長あいさつ

3. 区役所長あいさつ

4. 議事録署名人の指名

—澤田会長が、議事録署名人に五賀和雄委員と折笠寛昭委員を指名する。—

5. 議事

(1) 報告事項

①鹿島区に屋内運動場を整備する件について

■地域振興課長

本日開催されるスポーツ推進審議会で、屋内運動場整備事業が諮問され、その結果が後日、地域協議会へ報告される。本日はその前段の報告ということで、概要について説明する。

福島定住等緊急支援交付金、別名「子供元気回復交付金」を財源に、体育館の整備を現在進めている。

整備概要にある面積等は、交付金申請上のもので決定ではない。庁議を経て8月の臨時議会に予算を計上していきたい。今年度に設計から発注までを予定している。

○早川委員

障害者に配慮した、バリアフリーの設備は含まれているのか。世代間交流ができる体育館になるのか。

■地域振興課長

まごころセンターと連携した、子供から高齢者まで使えるような施設にしていきたいと考えている。

■区役所長

公の施設として整備するので、障害者の方々も十分使えるようなバリアフリーになっている。

○立谷委員

災害時の備蓄庫を考えていただきたい。

■区役所長

市で防災計画を策定中であり、その中で備蓄庫のあり方については、市としてしっかりとの方針を出すということになっているので、鹿島区において公共施設でそれを兼ねるのか、別に設置していくのか皆さんのとの議論の中で決定していきたい。

○西(道)委員

体育館建設にあたり、地域協議会でも意見を聞く機会があるのか。

■地域振興課長

文化スポーツ課が主管となって行うが、委員の皆さんの意見が取り入れられるように担当課に繋いでいく。

(2) 協議事項

①鹿島区地域ビジョンの策定について

○西(文)委員

明確なスローガンがあると、何が優先順位か見えてくる。

○荒委員

松山ビジョンを完成させるまで、かかった期間を参考にさせていただきたい。

■事務局

松山からいただいた資料を見ると、6回の会議の他、分科会を何度か開催してこのビジョンを作っている。

○郡委員

鹿島区の現状をどう捉えて、どういう目標のまちづくりにするのか、スローガンを頭に入れながら課題を見ていくことが必要。松山のようなスローガンを全体で議論して、分科会を作り、該当する事業(ソフト事業も含め)をピックアップする方法が良いので

はと思う。

総合計画などを作る場合には、人口目標が課題になる。前から住んでいた人が何人残って、新しく住んだ人が何人いるか。

○区役所長

体育館の建設にあたって、南相馬市の人口ということで、所管課のほうで整理した数字がある。

震災時点の23年3月11日現在の鹿島区の人口が1万1,603人で、現在の鹿島区の居住者数、今年の7月4日現在ということで1万3,784名。

(参考)

震災時点に小高区に住所をおいて、現在鹿島区に居住しているという方…2,702名

もともと鹿島区に住所を置いていた方…9,235名

原町区に住所をおいて、現在鹿島区に居住しているという方…1,156名

それ以外(外国人登録等、他の市町村から避難してこられている方等)…691名

○立谷委員

他の地区から仮設に住んでいる方をより多く鹿島にとどめ、より多くの人が住めるような状態にすることが、まちづくりビジョンの課題だと思う。

○澤田会長

将来のまちづくり構成には、人口の推移がどうなるかを頭に置きながら、スローガンは全体で、中身については分科会のような形で持っていければと考えている。

観光の問題、地域が合併してから花火大会、春まつりなど、様々なイベントが無くなったという声が聞かれる。

松山ビジョンを参考にするならば、事務局に協力を得てスローガンを事務局案としてお示ししたほうが良いのではないか。

○郡委員

松山のスローガンを鹿島に当てはめることを事務局に考えてもらうより、皆さんの意見を出して、お互いの意見を参考にしながら作りあげていくほうが良い。

■区役所長

現状が、どうしても望むところで足りない部分があり、そういった課題を克服した将来像が、最終的にスローガンになるのだと思う。

松山でいう「人、地域を育み」とは、「人づくりの環境が十分でない」という認識があってそれを克服したい、というような思いで施策が展開される。

そういった共通認識をして、どの分科会でも手順さえしっかり踏んでいけば、皆さんが共有できるようなスローガンになると思う。

○澤田会長

次回までに皆さんにスローガンを考えてもらい、項目の数について提案いただきたい。

○郡委員

除染の問題について、ビジョンとの関わりでどうなのかという意見が八沢地区で出ている。転出者増の原因が分からないだけで良いのか。理由をもっと分析していただきたい。

南相馬は除染が進まないことに対する不信感があり、除染のあり方について再検討を求める必要があるのではないかと。南相馬市の除染のあり方について意見書を出した方が良い。

■地域振興課長

現在、除染が進まない原因は仮置き場が決まらないためであることは、市民の皆さんは理解していても近くにあると反対が出てまとまらない。

■区役所長

除染計画が行き詰っている理由として、生活圏の市民の意見なり、共同作業の枠がない。担当所管に意見として言っているが環境省の認可のもとで進めているため、なかなか変えられないというのも事実。

○澤田会長

除染がビジョン作成に大きく関わる事項なので、除染のすみやかな実行を求め地域協議会として、市長へ意見書を提出することで進めたい。

— 了 —

その他①

○五賀委員

右田の一本松を7月8日に樹木医に診ていただいた結果、枝も葉も根も生存しているということであった。防災林の敷地に入るため、県に対し要望をしながら、ぜひとも生かしていきたいという思いである。

その他②

○澤田会長

広報委員会から何か報告があるかどうか。

■事務局

前回の地域協議会終了後に広報委員会を行い、委員長に西委員、副委員長に大塚委員を選出した。掲載内容としては、委員の構成、鹿島区のビジョン作りに取り組んでいること、それから一本松の話題、1番最初なので会長のあいさつも入れる。7月の野馬追前までに原稿をいただくことで進めている。

その他③

○荒委員

一本松の周りにロープをはってもらいたい。市で行わなければ、自分たちで柵かロープを張りたい。

その他④

○鈴木(貞)委員

前回の地域協議会において、烏崎の枯れた松が運搬作業に非常に危険であるとお伝えした。早めに片づけてもらいたい。

その他⑤

■事務局

前回の協議会で、視察研修の時期を 10 月上旬にと話があったが、時期の幅を広げ 11 月も含めて検討してよろしいか。

—了—。

○澤田会長

以上ですべての議事を終了したい。

① 次回地域協議会日程について

8月8日(木)開催予定。

次回までに、八沢地区のまちづくり委員会において要望を整理したものをお配りしたい。

7. 閉 会

以上のとおり、相違ありません。

会 長

澤田 一夫

会議録署名人

五野 祐 祐 雄

会議録署名人

折 笠 寛 昭